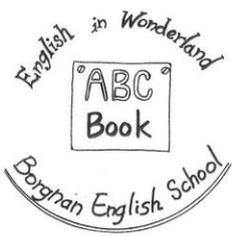
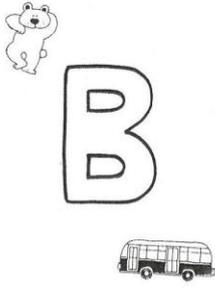
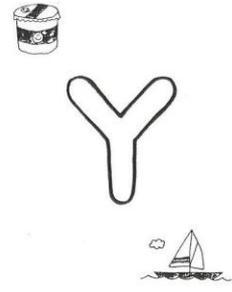
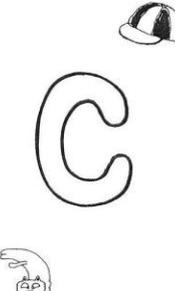
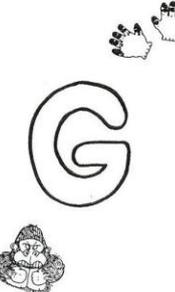
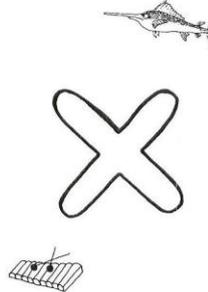
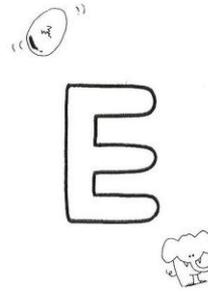
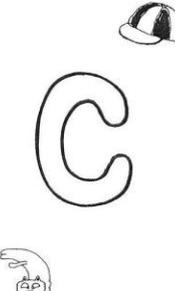
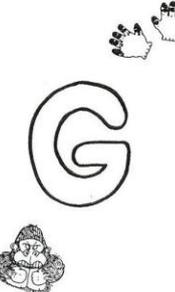
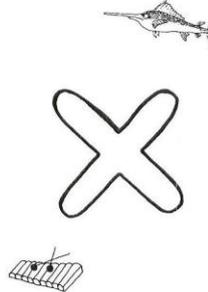
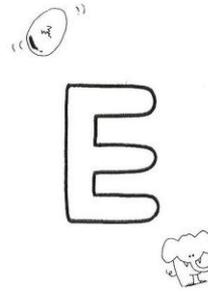
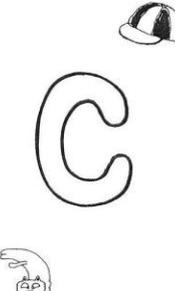
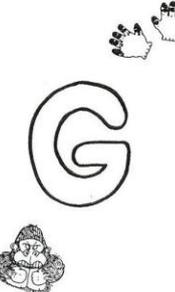
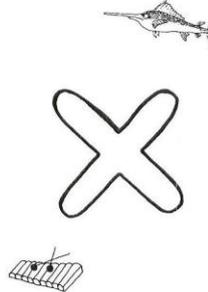
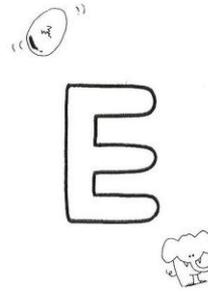


ミニABC Book (「ワークシート」より)

<p>Name _____</p>		<p>a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z</p>									
<p>A B C D E F G H I J K L M N O</p>											
<table border="0"> <tr> <td data-bbox="319 1120 526 1456">  </td> <td data-bbox="542 1120 782 1411"> <p>P Q R S T U V W X Y Z</p> </td> <td data-bbox="798 1120 1037 1456">  </td> <td data-bbox="1053 1120 1292 1456">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1478 526 1792">  </td> <td data-bbox="542 1478 782 1792">  </td> <td data-bbox="798 1478 1037 1792">  </td> <td data-bbox="1053 1478 1292 1792">  </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">©Y.K.</p>					<p>P Q R S T U V W X Y Z</p>						
	<p>P Q R S T U V W X Y Z</p>										
											

初めてこれを目にされた方は、何だろう？と首を傾げられるでしょう。表紙のような絵柄の隣に小文字のアルファベットが並んでいて、その向こうに B しかない。A はどこ？と

探してみると下の段、その左には大文字の P から Z までが並んでいて ABC はない。その左隣に C があるけれども、上の D とはどうかやれば並べられるのでしょうか？

この仕掛けを見破ってにんまりされている方もおられるかもしれませんね。これは 1 枚のシートの裏と表。もう一枚、ここには表示していないシートと組み合わせて順序よく重ね合わせると、A から Z までが揃う手のひらサイズのミニ・ブックになるのです。

子どもはこの 2 枚のシートを中央のラインで 4 枚に切り分けて、A…B…C…と口の中でブツブツ言いながら文字を探し、Z まで辿り着いて 8 枚の紙を重ね合わせて、教師のところへ見せにきます。順番が正しいかをアルファベットを唱えながら確認し、**Good job!**

ホチキスカ紐で閉じてあげて出来上がり。さあ、この小さな本で遊べます。アルファベットの頭文字で始まる単語の絵が各ページの 2 つの隅にあります。子どもは何回も聞いたことのある単語ですから、直ぐに言えるようになります。言い方の確認をしたら、まず、アルファベット文字の一つ選んではっきり発音して聞かせ、そのページを見つけさせます。ページを正しく見つけたら、そこにある絵の単語の一つ言います。言いやすい方を選んで、大きな声で言うでしょう。反対に教師が単語を言って、それのあるページを探させて、文字の名前を言わせる、あるいは、二つあるうちの一つの単語を言ったら、もう一つの単語を言う、などのゲームで盛り上がりながら、単語の最初の音をあらわす文字を確認していきます。単純な遊びですが、自分の両手に収まるサイズの本は、しばらくの間、子どもたちのマスコットになります。